

リスクと機会

メガトレンド

地政学的
対立の顕在化
(貿易摩擦・
ウクライナ問題等)

世界的な
気候変動・
脱炭素社会への
シフト

技術革新の
加速化・多様化

デジタルシフト・
サイバー
セキュリティ

ポスト
コロナ社会

人口動態の変化
(労働力人口減少、
超高齢化社会)

人権の尊重に
対する
国際的要請の
高まりと法制化

	当社への影響 (▲リスクと○機会)	発生 可能性	緊急度*
製造	▲ 自然災害等の影響による自社グループ生産拠点の停止・操業度低下 ▲ 地政学リスクを含む社会的混乱による自社グループ生産拠点の停止・操業度低下	中	3年以内
	▲ 自然災害等の影響によるサプライヤー生産拠点の停止・操業度低下 ▲ 地政学リスクを含むサプライチェーンの不安定化	中	3年以内
	▲ 原材料価格の高騰による生産コスト増大	高	1年以内
品質管理	▲ 欠陥製品による重大事故、リコール等が発生した場合、多大な費用の発生や社会的信用の失墜	低	不定
技術革新	▲ 既存技術や製品の陳腐化や研究開発の成果創出の失敗等による市場喪失・競争力の低下	中	5年以内
	▲ 新興国における低コストの競合メーカーの台頭	中	5年以内
	▲ 知的財産に関する紛争(侵害訴訟・模倣品氾濫)の発生	低	不定
	○ 新技術・新モデルによる新規ビジネスの機会	高	3年以内
	○ AI・DXの積極的活用	高	1年以内
環境	▲ GHG(温室効果ガス)削減に向けた対応	高	1年以内
	▲ 環境負荷コスト増大	高	3年以内
	▲ 環境汚染の発生による損失	低	不定
	○ 省資源、省エネ、低炭素な製品需要の高まり	高	1年以内
社会	▲ 労働力人口減少による人材の確保困難	高	5年以内
	▲ ノウハウ承継、後継者問題	中	5年以内
	▲ 人権侵害による既存ビジネス喪失、レピュテーション毀損	低	3年以内
	○ 人権を重視した経営による企業価値の向上	中	3年以内
	○ 従業員の働きやすさの向上による会社の成長	中	3年以内
	○ 新たな社会的課題の出現	高	1年以内
ガバナンス	▲ 情報漏洩・コンピュータウイルスの感染・サイバー攻撃	中	不定
	▲ コンプライアンス違反による既存ビジネス喪失、レピュテーション毀損	低	不定
ファイナンス	▲ M&Aにおける偶発債務等の発生または想定以上の収益の下振れや負のシナジーによる減損	中	3年以内
	▲ 急激な為替および金融市場変動による予想外の損益発生またはキャッシュ・フローの悪化	中	1年以内

当社グループは、事業環境を認識かつ予想し、個々の事象がどのようなインパクトを事業や業績に与えるかに加え、リスクと機会の発生可能性や影響度を分析し、緊急度に応じて戦略・施策を立てています。下記の表はこれらを整理し一覧にまとめたものです。

影響度	戦略・施策	参照
大	●水リスクが高い拠点を中心とした国内外主要拠点のBCP策定、訓練の実施 ●危機管理マニュアルの整備 ●グローバル生産体制	製造資本 P.49-50 環境への取り組み P.57-62 BCP P.80
大	●外部環境の変化に効果的な製品ミックスとグローバル生産体制 ●定期的な政治経済リスク評価の実施 ●マルチソース化(複数社購買)の促進	製造資本 P.49-50 安全保障貿易管理 P.80
中	●需給調整のモニタリング強化 ●物流の最適化	CFOメッセージ P.11-16 事業別戦略 P.35-44
大	●「ミネベアミツミグループ品質方針」の徹底 ●設計段階での調査と確認、サプライチェーンにおける管理体制強化	品質管理体制の強化 P.63
中	●コア事業「8本槍」の強化、多角化 ●研究開発管理規程に則った効果的かつ効率的な研究管理	ミネベアミツミの強み P.25-26 知的資本 P.51-52
中	●コスト削減、競争力強化	事業別戦略 P.35-44 製造資本 P.49-50
中	●開発・設計時の他社知的財産権調査の徹底 ●商標の税関登録による水際措置	知的資本 P.51-52
大	●相合、M&A、アライアンスによる新規事業の獲得 ●設備の自動化、部品の内製化を通じた垂直統合生産体制の一層の強化 ●産官学共同によるオープンイノベーション推進	ミネベアミツミの強み P.25-26 事業別戦略 P.35-44 製造資本 P.49-50 知的資本 P.51-52
中	●社内のDX化推進	AI・DX推進 P.55-56
中	●気候変動関連リスクと機会のシナリオ分析、対応計画の策定、執行 ●MMIピコゼロの推進 ●自家用太陽光発電設備の導入、再生電力の調達	Carbon Neutral Steering Committee設置による環境対策 QCDESS®の体制強化
中	●製造工程の自動化・時間短縮 ●生産拠点の再編・効率化	高効率・省エネ設備の導入
中	●環境マネジメント委員会の下での厳格な環境汚染防止活動の推進	
大	●ミネベアミツミグリーンプロダクツの推進	価値創造ストーリー P.27-28 事業別戦略 P.35-44 環境への取り組み P.57-62
中	●積極的な採用による多様な人材の確保 ●M&Aによる人材獲得 ●東京クロステックガーデンへの東京本部移転	各種広告による企業ブランド定着 従業員が長く活躍できる健康維持・向上施策
中	●次世代リーダー候補選抜育成プログラム、社内研修の実施 ●ノウハウを属人化させずチームで共有するチームビルディング活動	
大	●責任ある調達の一層の推進 ●サプライチェーンの定期的なモニタリング ●人権ポリシー遵守、人権尊重の教育の徹底 ●内部通報制度の安定的運用	責任ある調達の推進 P.64 人権に関する方針と取り組み P.65 内部通報制度 P.78
大	●従業員のワークライフバランスに配慮した人事制度や施策の充実化	長時間労働防止、年次有給休暇取得の推進 ダイバーシティ&インクルージョンの推進
中	●多様な技術・製品ポートフォリオにより、新たな社会的課題に対応・貢献する製品の開発	事業別戦略 P.35-44
大	●グローバルなセキュリティ監視・危機対応体制の構築・運用 ●研修や訓練の実施による従業員への情報セキュリティ意識の浸透	リスクマネジメント P.79-80
大	●コーポレート・ガバナンスの強化 ●コンプライアンス、リスクマネジメント体制の強化	コーポレート・ガバナンス P.71-80
大	●人材と組織の相合によるシナジー創出 ●統合準備委員会の設置によるPMIの推進	CEOメッセージ P.3-8 CFOメッセージ P.11-16 知的資本 P.51-52 PMIインタビュー P.53-54
大	●為替予約によるリスクヘッジ ●地産地消の推進	規律ある財務運営と資金流動性確保の強化

*「緊急度」とは、現在から5年以内の時間軸を基準として、個々の事象が発生すると想定される時期を表したものです。なお、性質上具体的な時期の特定が困難な事象の緊急度は不定と表示しております。